

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第25週 (6/15-6/21) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	25週	24週	23週	22週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	6/15-6/21	6/8-6/14	6/1-6/7	5/25-5/31	6/8-6/14
			25週	24週	23週	22週	24週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	2	5	6	76
	感染性胃腸炎		33	32	19	18	140
	水痘		2	3	2	1	22
	手足口病		1	5	4	0	21
	伝染性紅斑		2	1	0	0	2
	突発性発しん		19	13	14	16	50
	ヘルパンギーナ		1	0	0	0	2
	流行性耳下腺炎		3	1	2	0	13
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	0
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	1	0
	流行性角結膜炎		2	0	0	0	2
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(4件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	60歳代	病原体等の検出	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	60歳代	細菌の分離・同定、薬剤耐性の確認及び起病菌の判定
腸管出血性大腸菌感染症	女性	50歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認		女性	20歳代	
				梅毒	女性	20歳代	血清抗体の検出

*第25週は、結核1件(66)、腸管出血性大腸菌感染症1件(4)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(6)、梅毒1件(11)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第25週のコメント

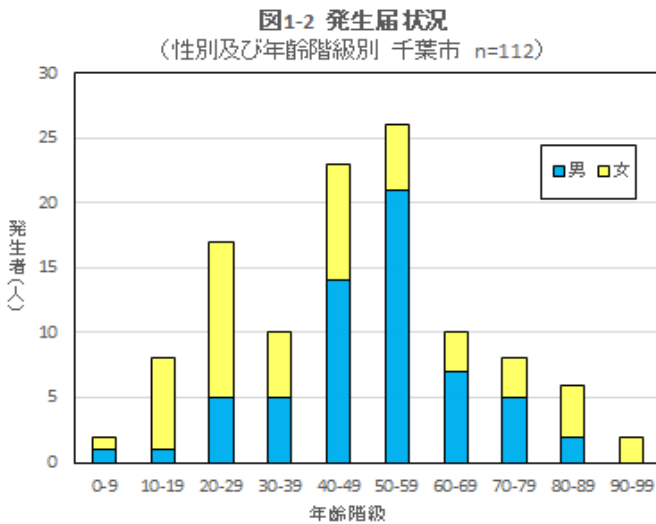
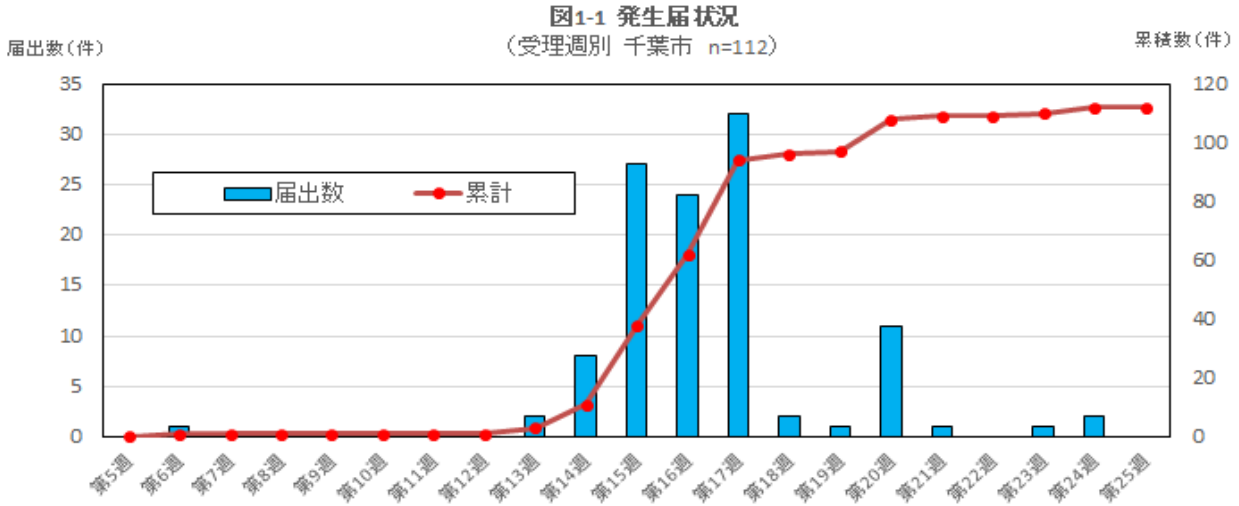
過去10年の同時期と比べてほぼ平均未満となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

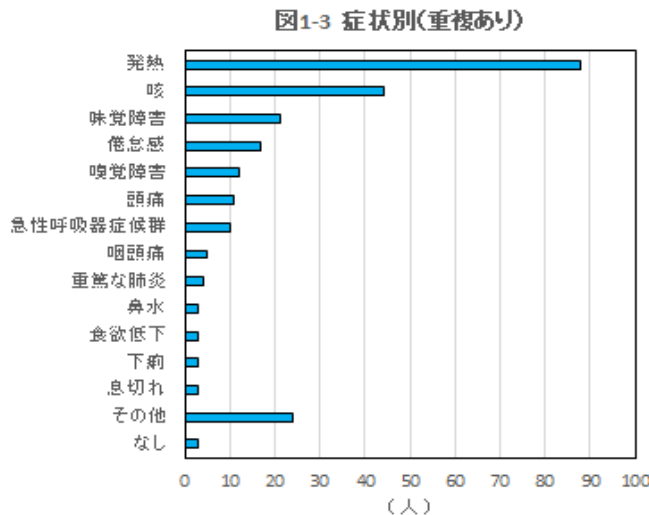
・発生届

第25週は発生届はありませんでした、合計は112件のままとなっています(図1-1)。
 性別では男性が61名(54.5%)、女性が51名(45.5%)で、年齢層は0歳から90歳代まで、年齢中央値は全体で49.8歳で、男性で51.1歳、女性で48.2歳となっています。年齢階級別では50歳代(26名:23.2%)、40歳代(23名:20.5%)、20歳代(17名:15.2%)の順に多くなっています。年齢階級の男女比は、男性は40歳代~70歳代で占める割合が高いことに対して、女性は10歳代、20歳代及び80歳代以上で占める割合が高くなっています(図1-2及び表1)。
 症状は、発熱(88名:78.6%)、咳(44名:39.3%)、味覚障害(21名:18.8%)の順で多くなっています(図1-3)。



中央値	51.1	48.2	49.8	
年齢層	男	女	計	
0-9	1	1	2	1.8%
10-19	1	7	8	7.1%
20-29	5	12	17	15.2%
30-39	5	5	10	8.9%
40-49	14	9	23	20.5%
50-59	21	5	26	23.2%
60-69	7	3	10	8.9%
70-79	5	3	8	7.1%
80-89	2	4	6	5.4%
90-99	0	2	2	1.8%
100-	0	0	0	0.0%
計	61	51	112	100.0%
	54.5%	45.5%	100.0%	

表1 性別及び年齢階級別



・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第25週(2020年6月21日時点)までに4153例(検体数4344)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は3895例(うち陰性化確認等248例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等67例の検査を実施しました。

陰性化確認等248例を除いた市中感染・輸入例疑い事例3647例(検体数3787)については、陽性は112例(陽性率:3.1%)でした(図2-1)。陽性率について、年齢階級別では50歳代(5.2%)、10歳代(5.0%)、40歳代(4.0%)の順で多くなっています(図2-2及び表2)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

(週別 千葉市:6月21日現在 n=3647)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

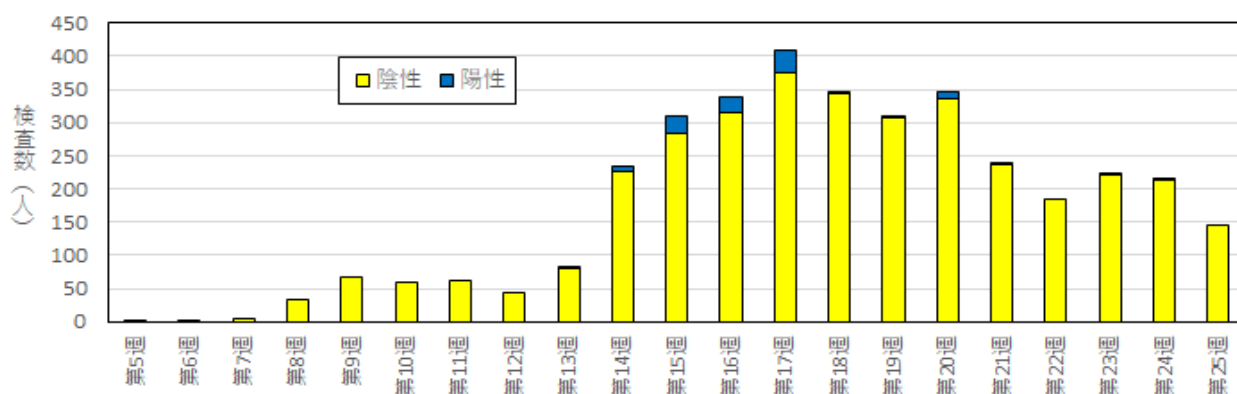
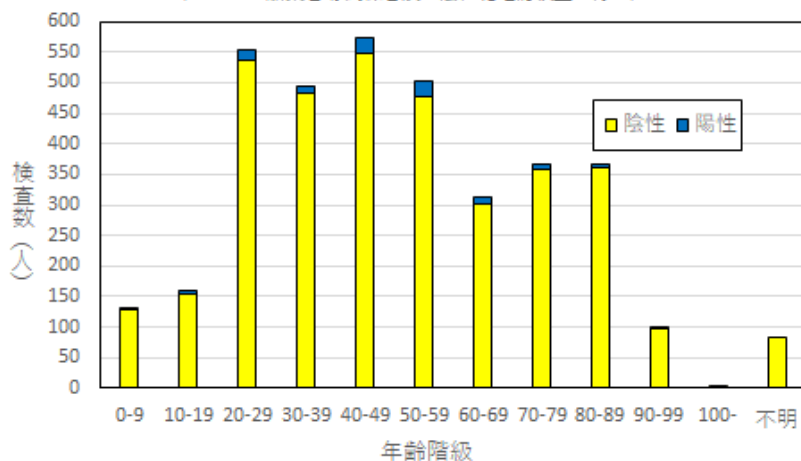


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

(年齢階級別 千葉市:6月21日現在 n=3647)
(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	2	129	131	1.5%
10-19	8	153	161	5.0%
20-29	17	537	554	3.1%
30-39	10	483	493	2.0%
40-49	23	549	572	4.0%
50-59	26	477	503	5.2%
60-69	10	302	312	3.2%
70-79	8	358	366	2.2%
80-89	6	361	367	1.6%
90-99	2	97	99	2.0%
100-	0	5	5	0.0%
不明	0	84	84	0.0%
計	112	3535	3647	3.1%

表2 年齢階級別の検査状況